

## 事例 1

## 目的や場に応じて適切に書く

### 1 育成を目指す言語能力

本単元は、伝えたい内容を正確かつ簡潔に書くという言語能力を育成するために計画したものである。「国語表現」の学習指導要領の指導事項の「ウ 目的や場に応じて、言葉遣いや文体など表現を工夫して話したり書いたりすること。」を指導の中心に取り上げ、「目的や場に応じて、言葉遣いや文体など表現を工夫して書いている。」という評価規準で評価する。言語活動例の「ウ 相手や目的に応じて、案内、紹介、連絡などのために話をしたり文章を書いたりすること。」を参考に、「逆クロスワードパズルを作る」「折り紙の折り方を説明する」「地図情報を文章で表現する」「短い文で的確に書く」などの言語活動を通して、その能力を育成する。

日本語に関する最近のテレビ番組や出版物の流行に表れているように、国民の日本語に対する関心は高い。それだけ、多くの国民が正しい国語の使い手になりたいという願望を持っているのであろう。

生徒の多くも、「書くこと」に抵抗を感じたり苦手意識をもったりしている。彼らが「書くこと」を苦手とする理由には、読書量の不足による語彙不足、書く機会や学習の不足による技術不足などが考えられる。授業で「書くこと」についてアンケートをとると、「書く材料がない」、「書きたいことがない」、「文字数の多い文章は書けない」、「書き方が分からない」などといった回答が少なくない。一方で、最近の生徒は、携帯電話でのメールのやり取りに象徴されるように、私的で身近なコミュニケーションは得意である。それでいて公的で社会的なコミュニケーションは不得手である。学校は本来公的な場であるが、そのような意識が薄い生徒も多く、HR日誌の記述にも、私的なメールで交わされるような記述が見られるようになった。そのような生徒も、自分自身の言語に関する知識や技能を向上させたいという思いは持っている。ここではゲーム感覚で親しみながら取り組むことができるような活動を設定して、「書くこと」への関心・意欲を喚起しつつ、目的や場に応じて適切に書く能力を育成したい。

### 2 学習活動の概要

(1)単元名 目的や場面に応じて適切に書く（6時間）

(2)単元の目標

目的や場に応じて、言葉遣いや文体など表現を工夫して書こうとする態度を身に付ける。

（関心・意欲・態度）

目的や場に応じて、適切な表現を用いて書く力を高める。

（書く能力）

国語の表現の特色について理解を深める。

（知識・理解）

(3)単元の評価規準

| 関心・意欲・態度                           | 書く能力  | 知識・理解   |
|------------------------------------|---|---|
| 目的や場に応じて、言葉遣いや文体など表現を工夫して書こうとしている。 | 目的や場に応じて、言葉遣いや文体など表現を工夫して書いている。<br>説明や案内や紹介のための文章などを書くとき、目的に応じた情報の選択をしたり文字の使い方の工夫などをしたりして、社会的な実用のための文字表現を使っている。 | 修飾・被修飾の関係などの語句の構造や、身近な言語生活の場面で用いられる語彙の特徴や構造を理解している。 |

(4)指導と評価の計画（6時間）

\* 努力を要する生徒への手だて

| 時間     | 学 習 活 動   | 指導上の留意点   | 単元の評価規準と評価方法                             |
|--------|---|---|--|
| 1<br>2 | 逆クロスワードパズルを作ろう<br>クロスワードパズル資料1の解答を導く「カギ」の文を作る。<br>4人グループで話し合って最も良い「カギ」の文を選び、清書用紙に記入する。<br>1問ごとに、「カギ」の文とその設定の理由を発表する。<br>学習を自己評価により振り返る。 | 解答を導く簡潔で適切な表現を工夫させる。<br>「カギ」作成上の留意点を確認する。<br>・ 1問につき25字以内。<br>・ 解答者を高校生以上と想定して、簡単過ぎず含みのある表現を工夫する。<br>* 必要に応じて国語辞典等を参照させる。<br>* 作問例資料2等をもとに示唆を与える。 | 書く能力、知識・理解<br>(ワークシート資料1の記述の確認、発表内容の分析)  |
| 3      | 折り紙の折り方を説明しよう<br>ワークシート資料3-1及び資料3-2の図に合わせて折り紙の折り方を説明する文を書き、説明書を作る。<br>4人グループで話し合って文を吟味し、最も良い説明文を清書用紙に記入する。<br>学習を自己評価により振り返る。           | 説明の対象が幼児と大人とでは表現の仕方が変わるので、ここでは幼児を持つ保護者の世代を読み手に想定して書かせる。<br>* 実際に折り紙を折り、作成の行程を確認しながら文章化させる。<br>* 説明の例資料3-2をもとに示唆を与える。                              | 書く能力、知識・理解<br>(ワークシート資料3-1及び資料3-2の記述の確認) |

| 時間     | 学 習 活 動   | 指導上の留意点   | 単元の評価規準と評価方法                                |
|--------|---|---|---|
| 4      | <p>地図情報を文章で表現しよう</p> <p>ワークシート1[資料4]の例にならぬ、A～Dの地図のうちの一つについて、ワークシート2[資料5]に最寄りの駅から試合会場までの道案内の文章を書く。</p> <p>各自が説明に使わなかつた地図について説明した友人と、ワークシート2を交換して、互いの書いた説明文をもとに、略地図を描く。</p> <p>で交換したワークシート2を戻し、説明の的確性を検討し、必要に応じて推敲する。</p> <p>学習を自己評価により振り返る。</p>  | <p>部活動のチームメートを読み手に想定して書かせる。</p> <p>地図上の方角、目安となる交差点や施設等に着目し、情報の質や量を適宜取捨選択させる。</p> <p>* 上記の留意点について、具体的に例を挙げて検討させる。</p>  | <p>書く能力、知識・理解<br/>(ワークシート2[資料5]の記述の確認)</p>  |
| 5<br>6 | <p>指定された語を使って短い文章を書こう</p> <p>ワークシート[資料6]で指定された語を使って、できるだけ短い文で的確に書く。(個人学習)</p> <p>4人グループで話し合つて内容を吟味し、清書用紙に記入する。</p> <p>分かるやすい広告になるように推敲しよう</p> <p>ワークシート[資料7]の文章を推敲する。(個人学習)</p> <p>4人グループで話し合つて内容を吟味し、グループとして1つの広告文を作り、清書用紙に記入する。</p> <p>グループごとに、推敲した広告文と推敲の理由を発表する。</p> <p>学習を自己評価により振り返る。</p> | <p>言葉を自由に使いこなす技術を身に付けさせる。</p> <p>* 関連する語句どうしをグループ化させて文章化させる。</p> <p>「指定された語を使って短い文章を書こう」で学んだ書き方を応用させる。</p> <p>修飾・被修飾の関係、一文の長さ等に着目させる。</p> <p>* 意味のまとまりごとに文を区切って考えさせる。</p> | <p>書く能力、知識・理解<br/>(ワークシート[資料6・7]の記述の確認)</p> |

「関心・意欲・態度」は、単元全体を通して評価する。

### 3 評価の例

「逆クロスワードパズルを作ろう」「折り紙の折り方を説明しよう」「地図情報を文章で表現しよう」の学習後の自己評価に、次のような記述が見られた。

「逆クロスワードパズルを作ろう」の学習後の自己評価

- ・問題文をいくつかの候補から選ぶときに、どれを選ぶか悩んだ。読み手に理解できて、簡単に解けないようにするのは難しかったが、楽しかった。
- ・問題を作ると小学生が書くような文章になってしまった。表現力がとても必要だと思った。
- ・問題を作るにはボキャブラリーが必要だと思った。
- ・簡単な言葉についての問題ほど考えるのが難しかった。発想が大切だと思った。

「折り紙の折り方を説明しよう」の学習後の自己評価

- ・自分は分かっていることでも、それを文章で表現して読み手に分かりやすく伝えるということは、意外と難しかった。文章を書くときには、どう書いたら伝わるかを考えなければいけないということが分かった。
- ・何かを説明するときに、短い文でも的確に表すことはけっこう大変だった。これから文章を書くときには、相手のことをよく考えて書こうと思う。
- ・自分では気付かなかった表現を、友人から指摘されて分かることがあった。

「地図情報を文章で表現しよう」の学習後の自己評価

- ・目の前にある地図を説明するのが、こんなに難しいとは思わなかった。
- ・会話ならば質問ができて説明不足の点を補えるけれども、文章ではそれができないから、じっくり考えて書いた。書く練習になった。
- ・ただ文章を書けと言われると、どう書いていいか分からないけれども、地図の説明のように、書く目的がはっきりしていると、取り組みやすかった。

これらの自己評価に表れているように、「関心・意欲・態度」の評価に関しては、おおむね満足できると判断されるものが多かった。特に、読み手を意識して書こうとする意欲の高まりが感じられる。

### 4 成果と課題

#### (1) 成果

今までの「書くこと」の指導を振り返ってみると、「何を書くか」ということは指示しても、単に字数や原稿用紙の枚数をノルマとして書かせるだけで、「どう書くか」ということを指導しないまま書かせるようなことがあった。また、書く目的や場の設定を明確にしないまま書かせるような指導もあった。さらに、生徒の作品を完成品としてその良し悪しを評価するにとどまってしまうがために、生徒にとっては、学習活動が能力の向上の実感を伴わないということもあったように思われる。

そのような点で、目的や場面や相手を意識して書かせるというこの一連の事例は、指導者にとっては指導の改善の一方策となった。生徒にとっては、目的や場面や相手を意識して書くことで、どのように書けば伝わるのかということが、実感を伴って理解できたのではないかと思われる。原稿用紙に向かって嫌々書くこともなく、楽しみながら、自分から工夫して文章を練っていく姿勢が、生徒の「書く能力」を高めることにつながると感じられる。

また、「書くこと」の指導にグループ学習を取り入れたことによって、生徒が多少なりとも視点や発想の広がりを実感できたことが、今後の表現活動に生かされるのではないだろうか。題材

や学習集団によっては、書いた内容を友人に読まれることに抵抗感を示すこともあるが、この事例のように、実用的な場を想定して書く活動であれば、生徒の主体的な取組を導きやすい。

なお、HR日誌の生徒の所感欄に、読み手を意識した記述が見られるようになったことも、この学習で育まれた「書く能力」が、運用面で発揮されていることのひとつと言えよう。

## (2)課題

この単元の指導は、短い文で書くことが中心の活動であったが、この後の小論文指導等においても、書かせたものをだけを評価するのではなく、自己評価や相互評価を効果的に取り入れるなどして、形成的な評価をその後の指導に生かすよう、工夫改善を加えていくことが必要である。

## 参考文献

- ・田中孝一・西辻正副編著『評価規準が授業を変える！ 高校国語の評価規準と実践例』明治書院
- ・大平浩哉編著『「国語総合」授業の工夫20選』大修館書店
- ・北川達夫 フィンランド・メソッド普及会『図解 フィンランド・メソッド入門』経済界

## 参考URL

- ・Yahoo!地図情報 <http://map.yahoo.co.jp/>

## 逆クロスワードパズルを作ろう

資料 1

( ) 組 ( ) 番 氏名 ( )

次のクロスワードパズルについて、例にならって、タテのカギ ヨコのカギ を作ってみましょう。

|    |   |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |   |    |   |   |
|----|---|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|---|----|---|---|
| 1  | ヒ | ナ  | タ  | ボ  | ツ  | コ  | ■  | 5  | ミ  | ズ  | 6  | カ  | 7 | キ  |   |   |
|    | ヤ | ■  | 8  | イン | ガ  | ■  | 9  | ア  | ネ  | ■  | 10 | タ  | キ |    |   |   |
| 11 | ク | 12 | ■  | 13 | サイ | 14 | ホ  | ウ  | ■  | 15 | ト  | ツ  | ■ |    |   |   |
|    | ■ | 16 | ヤ  | 17 | サイ | ■  | 18 | テ  | ン  | 19 | ト  | ウ  | ム | 20 | シ |   |
| 21 | キ | ン  | ク  | ■  | 22 | ト  | イ  | ■  | ク  | ■  | 23 | リ  | ク | ■  |   |   |
| 24 | ス | プ  | リ  | ン  | グ  | ■  | 25 | ケ  | イ  | カ  | ■  | ラ  | ■ | ■  |   |   |
|    | ウ | ■  | ヤ  | ■  | 27 | ロ  | 28 | ケン | ■  | 29 | オ  | 30 | ウ | メ  |   |   |
|    | ■ | 31 | タ  | ク  | 32 | ミ  | ■  | 33 | ム  | カ  | 34 | デ  | ■ | 35 | チ | ン |
| 36 | イ | ン  | ■  | 37 | ミ  | 38 | ドリ | ■  | 39 | ミ  | ツ  | ド  | ■ | ■  |   |   |
| 40 | ヌ | レ  | 41 | ネ  | ズ  | ミ  | ■  | 42 | ク  | セ  | ■  | 43 | コ | 44 | シ |   |
| 45 | イ | ン  | コ  | ■  | 46 | ノ  | ゾ  | キ  | ■  | 47 | ト  | ロ  | ロ |    |   |   |

|    |    |    |    |    |   |   |   |   |   |   |   |   |                          |
|----|----|----|----|----|---|---|---|---|---|---|---|---|--------------------------|
| 19 | 17 | 15 | 14 | 12 | 9 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |                          |
| .  | .  | .  | .  | .  | . | . | . | . | . | . | . | . | タテのカギ<br>1. 一足飛びに進歩すること。 |

\* このクロスワードパズルはフリーソフトを利用して作成したものである。

### 「カギ」作成上の留意点

- ・ 1問につき25字以内で簡潔に書く。
- ・ 解答者を高校生以上と想定して、簡単過ぎず含みのある表現を工夫しよう。

例 「ヨコ1のカギ」

ひなたで暖まること。  
ひだまりで暖まること。  
日光があたる所でくつろぐこと。



|    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |   |
|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|---|
| 44 | 42 | 41 | 38 | 36 | 34 | 32 | 31 | 30 | 28 | 26 | 25 | 22 | 21 | 20 |   |
| .  | .  | .  | .  | .  | .  | .  | .  | .  | .  | .  | .  | .  | .  | .  | . |

### ヨコのカギ

- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 1. 日光があたる所でくつろぐこと。 | 27. |
| 5.                 | 29. |
| 8.                 | 31. |
| 9.                 | 33. |
| 10.                | 35. |
| 11.                | 36. |
| 13.                | 37. |
| 15.                | 39. |
| 16.                | 40. |
| 18.                | 42. |
| 21.                | 43. |
| 22.                | 45. |
| 23.                | 46. |
| 24.                | 47. |

逆クロスワードパズルを作ろう（作問例）

資料2

（ ）組（ ）番 氏名（ ）

次のクロスワードパズルについて、例にならって、タテのカギ ヨコのカギ を作ってみましょう。

|    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |   |    |    |   |   |
|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|---|----|----|---|---|
| 1  | ヒ  | ナ  | タ  | ボ  | ツ  | コ  |    | 5  | ミ  | ズ  | カ  | キ |    |    |   |   |
|    | ヤ  |    | 8  | イン | ガ  |    | 9  | ア  | ネ  |    | 10 | タ | キ  |    |   |   |
| 11 | ク  | 12 | ジ  |    | 13 | サイ | 14 | ホ  | ウ  |    | 15 | ト | ツ  |    |   |   |
|    |    | 16 | ヤ  | 17 | サイ |    | 18 | テン | 19 | ト  | ウ  | ム | 20 | シ  |   |   |
| 21 | キン | ク  |    | 22 | ト  | イ  |    | ク  |    | 23 | リ  | ク |    |    |   |   |
| 24 | ス  | プ  | リン | グ  |    | 25 | ケ  | イ  | カ  |    |    | ラ |    |    |   |   |
|    | ウ  |    | ヤ  |    | 27 | ロ  | ケン |    | 29 | オ  | ウ  | メ |    |    |   |   |
|    |    | 31 | タ  | ク  | 32 | ミ  |    | 33 | ム  | カ  | 34 | デ |    | 35 | チ | ン |
| 36 | イン |    |    | 37 | ミ  | ドリ |    | 39 | ミ  | ツ  | ド  |   |    |    |   |   |
| 40 | ヌ  | レ  | ネ  | ズ  | ミ  |    | 42 | ク  | セ  |    | 43 | コ | シ  |    |   |   |
| 45 | イン | コ  |    | 46 | ノ  | ゾ  | キ  |    | 47 | ト  | ロ  | ロ |    |    |   |   |

- 19 17 15 14 12 9 7 6 5 4 3 2 1
- タテのカギ
- 1 一足飛びに進歩すること。
  - 2 慶事の料理に付き物の魚。
  - 3 日本のガーデニング。
  - 4 結婚して一緒にいる動物。
  - 5 山の頂。
  - 6 漢字で「蝸牛」と書きます。
  - 7 ピンチ。
  - 9 二人の息がぴったり合っています。
  - 12 スキー複合競技で「距離」とセットになっている。
  - 14 七福神の一人で、大きな袋を持っている。
  - 15 学者の研究室を「象牙の」とも言う。
  - 17 相手をだますための手。
  - 19 苦手ではありません。

- 44 42 41 38 36 34 32 31 30 28 26 25 22 21 20
- ヨコのカギ
- 20 別名「豚の饅頭」。
  - 21 2では割りきれない数。
  - 22 蛇が巻くもの。
  - 25 両成敗になります。
  - 26 これをつぶされると面目ない。
  - 28 火のないところには立たないもの。
  - 30 これが悪いととても痛い。
  - 31 体力や精神力を鍛え抜きます。
  - 32 下手な字の形容に使われる下等動物。
  - 34 露店のこと。
  - 36 北西を干支で表すと。
  - 38 西洋カルタの一種ですが、倒すことにも使われます。
  - 41 小判の使い方を知らない動物。
  - 42 木の幹に当たる草の部分。
  - 44 犯人ではない。

ヨコのカギ

- 1 日光があたる所でくつろぐこと。
- 5 河童の手足にはこれがあるとのこと。
- 8 前世の悪業の報い。
- 9 同じ親から生まれた年上の女性。
- 10 汗がどっと流れる形容に使われます。
- 11 「あみだ」「宝」に共通するもの。
- 13 針や糸が必需品です。
- 15 出っ張りのこと。
- 16 肉や魚も必要ですが、これも必要です。
- 18 背中に水玉模様のある虫。
- 21 言ってはいけない言葉。
- 22 屋根の雨水を集めて流します。
- 23 地球上の約3割に当たります。
- 24 「バネ」または「春」のこと。

- 25 結果はまだ分かりません。
- 27 秘密や悪事がばれること。
- 29 マラソンで有名な東京の市。
- 31 構造。
- 33 「百足」と書く節足動物。
- 35 皇帝や天皇の自称。
- 36 漢詩などで踏むもの。
- 37 時には「青」とも形容される色。
- 39 詰まっている度合い。
- 40 服を着たままず濡れになること。
- 42 誰でも最低七つはあるという。
- 43 麺類には欠かせません。
- 45 オウムに似た熱帯産の小さい鳥。
- 46 光源氏の時代は「かいま見」と言って、合法でした。
- 47 麦飯と相性のいい料理。

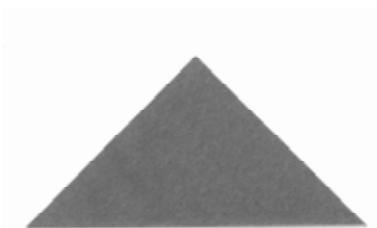
## 折り紙の折り方を説明しよう

( )組( )番 氏名( )

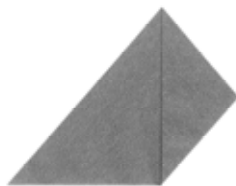
出版社に勤務することになったAさんは、折り紙の本を編集することになりました。Aさんになり代わって、1～14のそれぞれの写真に合うように、の中に説明の文を書き入れてみましょう。

## セミの折り方

1



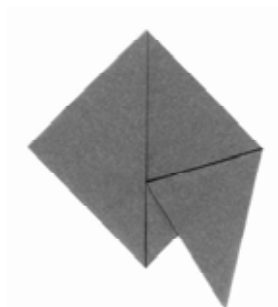

2



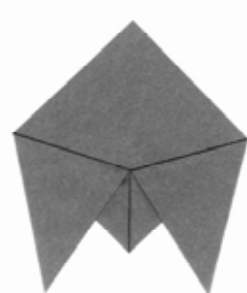

3




4



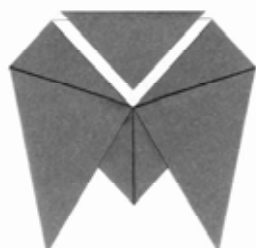

5




6




7




8

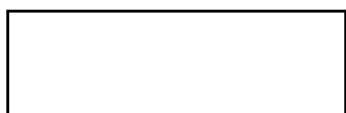



9





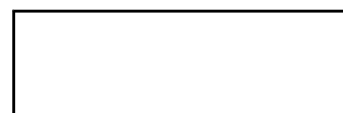
10



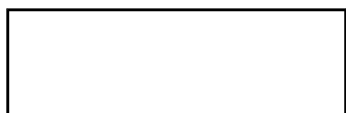
11



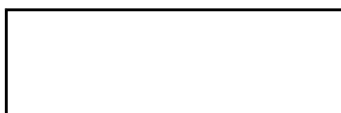
12



13



14



自己評価（この学習を通して感じたことを自由に書いてください。）

説明の例（ワークシートの配付時には示さない）

- 1 半分(三角形)に折る。
- 2 上部の頂点に合わせて、右側を三角に折る。
- 3 左側も2と同じように折る。
- 4 右角を軸に下の方へ斜めに折る。
- 5 4と同じように左角を軸に下の方へ斜めに折る
- 6 上の一枚だけを手前に折る。
- 7 6で折った白い部分が少しだけ見えるように、もう一枚を折り重ねる。
- 8 裏返す。
- 9 半分に折る。
- 10 9を開く。
- 11 真ん中の折り目に合わせて折る。
- 12 左側も11と同じように折る。
- 13 12を裏返す。
- 14 上部の両端を内側に折り込んで完成。

地図情報を文章で表現しよう（ワークシート1）

資料4

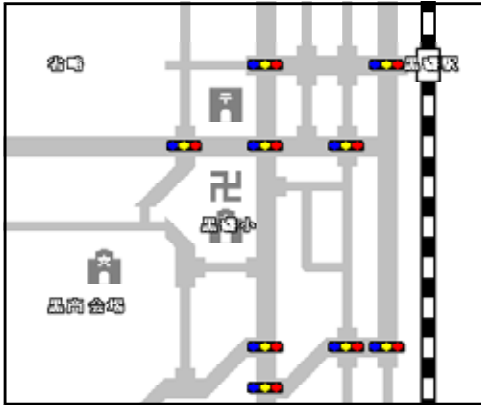
（ ）組（ ）番 氏名（ ）

部活動の試合が、高校を会場に行われることになりました。試合の当日の朝、会場に向かっていたあなたは、チームメートのAさんからのメールで、会場の最寄りの駅から会場までの道順を携帯電話のメールで教えて欲しいと頼まれました。Aさんは会場近辺の地理に不案内の上、顧問の先生から配られた地図を家に置き忘れてしまったのだそうです。

問1 会場の地図の情報を読み取り、最も分かりやすいと思われる道順を、例にならって、簡潔に文章で説明しなさい。文章は、ワークシート2の「問1の解答欄」に記しなさい。

授業では、生徒一人につき、地図A～Dのいずれか一つを印刷したものを配布し、説明させる。  
著作権の都合上、ここではフリーソフトを利用して作成した略地図を示しているが、授業では「YAHOO! MAPS」から1/8000の地図をダウンロードして使用した。

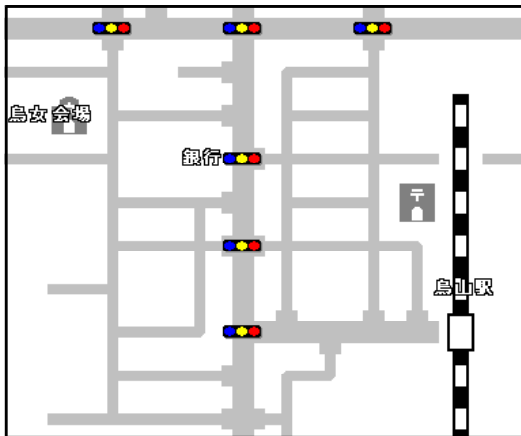
例 黒磯高校会場



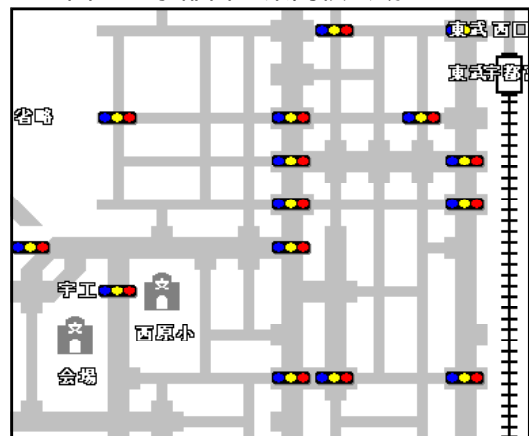
解答例

黒磯駅を出て正面の道を真っ直ぐ進み、駅前の信号から数えて、二つめの信号を左折します。次の信号を右折します。その次の信号を左折し、道なりに進むと正面に黒磯高校があります。

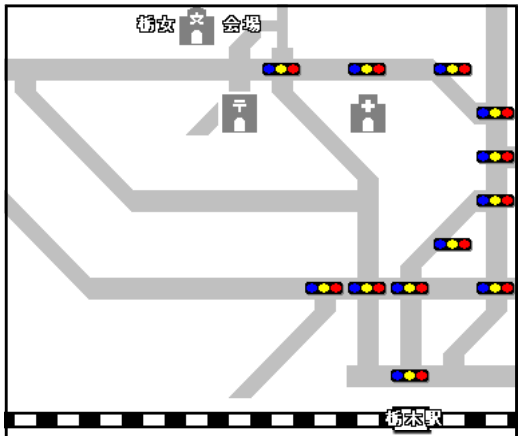
地図A 烏山女子高校会場



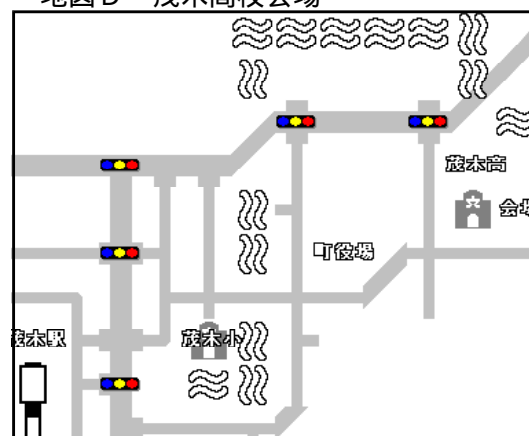
地図B 宇都宮工業高校会場



地図C 栃木女子高校会場



地図D 茂木高校会場



文章から略地図を再現しよう（ワークシート2）

（ ）組（ ）番 氏名（ ）

問1の解答欄

|       |
|-------|
|       |
| ----- |
| ----- |
| ----- |
| ----- |
| ----- |
| ----- |
| ----- |

次に、自分が説明に使わなかった地図について説明した友人と、このワークシートを交換しなさい。

問2 友人の書いた問1の地図の説明だけをもとにして、最寄りの駅から会場までの略地図を描きなさい。

略地図を描く人（ ）

|  |
|--|
|  |
|--|

無事に目的地までたどり着けるでしょうか。お互いにワークシートを交換して、文章と地図を照らし合わせてみましょう。もし、目的地までたどり着けないような説明だったら、誤解を招いた表現や分かりにくい表現がないかどうか検討して、推敲してみましょう。

自己評価（この学習を通して感じたことを自由に書いてください。）



## 分かりやすい広告になるように推敲しよう

( )組( )番 氏名( )

次の        中の文章は、某レストランに就職したAさんが、店長に命じられて書いた、店の広告文の原稿です。店長に見せたところ、もっと分かりやすい文章にするように言われました。

当店は、江戸前の魚介類など四季折々の新鮮な素材を創意工夫にあふれた個性的スタイルに仕立て上げた旬の味覚が楽しめる風光明媚な海岸通りに面した片田舎の和風レストランです。

問1 Aさんは、店のどのような点をお客さんにアピールしたいのでしょうか。箇条書きで抜き出し、関係のあることどうしをグループにしてみましょう。

問2 あなたがAさんに代わって書き直すとしたら、どのように推敲しますか。問1で整理したことを推敲の視点として生かして、分かりやすい文章に直してみましょう。

-----

-----

-----

-----

-----

-----

自己評価（この学習を通して感じたことを自由に書いてください。）